

## 情報公開文書

**課題名** : 当地区における糖尿病診療の実態調査

**研究期間** : 倫理委員会承認後～2020年10月31日

### 1. 研究の対象

2019年10月1日～31日に当院でHbA1cを採血検査された方

### 2. 研究目的・方法

この10年間で糖尿病診療においては種々の進歩がみられています。薬剤の面では新しい機序の薬剤や週1回製剤・合剤が使えるようになったことで薬剤の適切な使用や副作用などの軽減が図られ、持続血糖測定器の進歩と保険適応の拡大により、詳細な検査が手軽に行えるようになってきました。

さらに、静岡県西部地区の医師や医療関係者で構成・活動している「糖尿病のよりよい連携医療をめざす会」では、2008年に静岡県西部糖尿病療養指導研修会を発足し、糖尿病患者さんの療養に必要な情報を提供したり、相談等に応じることができる地域糖尿病療養指導士の育成を行ってきました。

しかし、浜松市国保によると浜松市の年間新規透析患者は平成26年に105人、平成27年は119人、平成28年は127人と増加がみられ、また、浜松市の患者さん千人当たりの人工透析患者さんは静岡県や政令指定都市平均に比べて多くなっています。透析導入の原因としては糖尿病関連が約半分と考えられ、糖尿病の重症化予防対策が急務であると考えています。本研究では浜松地区の糖尿病患者さんの血糖コントロールの状況等を調査し、合併症予防対策に役立てたいと考えております。

本研究では2019年10月に当院でHbA1cを採血検査された方の全HbA1c値を抽出し、その中でHbA1cが8%以上の方の詳細情報を調査します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

HbA1c値、HbA1cが8%以上の方の糖尿病の型、HbA1c値、性別、年齢、BMI(体格指数)、インスリンやその他の治療薬の使用状況等

### 4. 外部への試料・情報の提供

前述3.の項目について、氏名や診療番号など個人が特定される情報は削除した上で、浜松北病院地域医療支援課に送付され、研究代表者のもとで集計されます。

## 5. 研究組織

本研究は「糖尿病のよりよい連携医療をめざす会」の幹事の所属する以下の総合病院において共同研究として実施します。

遠州病院	後藤良重
聖隷浜松病院	柏原裕美子
浜松医科大学医学部附属病院	釣谷大輔
浜松医療センター	長山浩士
浜松北病院	澤田健、源馬理恵子（研究代表者）

## 6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者及び情報の提供先である浜松北病院 源馬理恵子が責任をもって適切に管理いたします。

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

浜松医療センター 内分泌・代謝内科 長山浩士（当院研究責任者）

住所 浜松市中区富塚町 328

電話 053-453-7111

研究代表者：浜松北病院 内科 源馬理恵子